

○茨城県教育目標

- ・ひとりひとりの能力を開発し 豊かな人間性をつちかう
- ・じょうぶな身体をつくり たくましい心を養う
- ・郷土を愛し 協力しあう心を育てる

○学校教育目標

# 知性に富み、心豊かで たくましく生きる生徒の育成

○鹿嶋市教育の基本理念

「地域が育て 地域を創り 未来を拓く 鹿嶋っ子」

○学び高め合い、生きる力を育む学校教育の推進

- 1 確かな学力の保障
- 2 豊かな心の育成
- 3 健やかな体の育成
- 4 次世代を見据えた教育の推進
- 5 キャリア教育の推進
- 6 郷土教育と国際教育の推進
- 7 特別支援教育の充実
- 8 保幼小連携・接続の推進

目指す学校像

- ① 生徒の自己有用感・自己肯定感が高まる学校
- ② 職員がやりがいをもてる学校
- ③ 保護者が通わせたい学校
- ④ 地域から応援される学校

目指す教師像

生徒に寄り添い、見守り、認めることができる教師

地域とともにある学校

- 積極的な情報発信 (HP・メール配信・各種便り)
- 施設分離型小中一貫教育 (R7年度開始) の周知
- 学校運営協議会、公民館、地域との連携と協力体制の構築

働き方改革の推進

タイムマネジメント力の向上

○教師が生徒と向き合う時間の確保のために (授業準備や生徒とのふれあい、相談に時間をかける)

<数値目標>

- 自己有用感を感じている生徒90%以上
- 自己肯定感を感じている生徒90%以上
- 家庭学習を行う生徒85%以上
- 主体的に授業に取り組む生徒85%以上
- 「学校が楽しい」と感じる生徒100%
- 先生は「生徒に寄り添い、見守り、認めてくれる」と感じる生徒95%以上
- 運動・体を動かすのが好きな生徒75%以上
- 1月超過在校時間45時間以内の教職員75%以上

【主な研修】

- ・授業改善プロジェクト (英語)
- ・研究テーマに関すること
- ・生徒指導及び特別支援教育に関すること
- ・部活動経営に関すること
- ・服務規律に関すること
- ・新規採用、2年次、3年次教員に関すること

組織目標

生徒一人一人の自己有用感・自己肯定感をなお一層高める

自己有用感＝①自分の存在価値を感じる②誰かの役に立てたという成就感③誰かに必要とされているという満足感  
 自己肯定感＝①失敗してもいい②欠点があってもいい③未熟な自分でもいい

目指す生徒像

自ら考え、学ぶ生徒  
《かしこく》



- 1 主体的・対話的で深い学びの実現に努める。  
 <単元構想の確立>
  - 何を身に付けるのか「ゴール」の明確化
  - 「ゴール」達成に向けた学習課題の工夫
  - 学習課題解決のための学習形態の工夫 (個人・グループ・全体)
  - 一人一台端末の利活用を通して個別最適化された学びと協働的・探究的な学びの実現  
 ※鹿嶋市授業スタイルの実践
- 2 生徒一人一人が自己の学びの変容を分析する振り返りを大切にする。(メタ認知の促進)
- 3 朝自習や家庭学習等でA Iドリルを効果的に活用する。

豊かな心で、助け合う生徒  
《やさしく》



- 1 学年・学級経営の充実に努める。
  - 生徒一人一人の個性・特性の理解
  - 生徒一人一人に役割と責任
- 2 道徳教育の充実に努める。
  - 道徳の時間を要とし、体験活動や実践活動の推進 (校内、地域とのふれあい)
- 3 特別活動の充実に努める。
  - 生徒が主役となる教育活動の推進
  - 公民館と連携した地域行事への参加
- 4 情緒の安定と安心感を育む教育相談体制の確立に努める。
  - SCとの連携
  - 「教育相談週間」と「チャンス相談」

じょうぶな身体で、たえぬく生徒  
《たくましく》



- 1 学校教育活動全体を通じた体育・スポーツ活動の充実に努める。
  - 教科体育における多様な指導方法
  - 運動部活動における生徒自らの活動計画等の立案・実践・検証
  - 茨城県「部活動の運営方針」(改訂版)の順守
- 2 危険予測・危険回避能力の向上に努める。
  - 自主的な新型コロナウイルス感染症対策
  - 防災教育及び安全教育の充実
- 3 生徒の心身の健康に関する指導に努め、健康管理に関する情報を積極的に提供する。
  - 外部講師を招いた薬物乱用防止教室、性に関する学習会の実施

重点施策

【特別支援教育の充実】

- 全職員の取組による生徒一人一人の個に応じた教育を充実させる。  
(合理的配慮等の共通理解)
- 特別支援コーディネーター等を中心とした校内支援体制を強化し、組織で対応する。
- 学校・生徒本人・保護者等との情報共有及び共通理解を図る。
- 成功感を生み出す支援を心がけ、成功体験を増やし自己肯定感を高める。

【生徒指導の充実】

- 生徒の自己指導能力を高める。
- ・生徒に寄り添い、生徒を見守り、生徒を認める。
- ・『指導の引き出し』と『感性の引き出し』を増やす。

研究テーマ

『知識・技能の定着を促進する学習活動とふりかえりの在り方～生徒の主体的活動の充実を通して～』